

* 当町では1月1日から12月31日までに役場に着金または、クレジット決済の確認ができた分までを当年の寄附分とさせていただきます。それ以降に着金及び決済が確認できた分につきましては、翌年寄附分とさせていただきます。

記入例

令和〇年寄附分 市町村民税・道府県民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書

令和 〇年〇×月△◇日 下諏訪町長 殿	整理番号
住所 〒393-1234 〇△×県 △〇郡 ◆〇×町 678-9	フリガナ シモスワ タロウ 氏名 下諏訪 太郎 個人番号
電話番号 ****-**-****	生年月日 昭和 〇△年 〇×月 ××日

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

個人番号（マイナンバー）を記入してください

あなたが支出した下諏訪町に対する寄附金について、申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

(注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために、申告の特例対象年に支出した全ての寄附金を受け取られなくなります。その場合に寄附金受領証を提出し、市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

寄付をした年月日と金額を、ご確認ください。
同じ自治体へ複数回寄附（寄附年月日が異なる寄附）をした場合、その都度申請書を提出する必要があります。
* 寄附年月日は、寄附金受領証の年月日かご確認ください。

1. 下諏訪町に対する寄附に関する事項

寄附年月日 令和 〇年 △〇月 ××日	寄附金額 10,000円
------------------------	-----------------

2. 申告の特例の適用

申告の特例の適用を受けるための申請書にチェックをしてください。

「確定申告をする必要のない」方が、ふるさと納税による寄附をされた場合のみチェックしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

(1) ①と②どちらも該当する場合のみ、ワンスストップ特例の申請が可能です。

1年間にふるさと納税による寄附先が「5箇所の自治体」以下であると見込まれる場合のみチェックをしてください。（回数ではなくて寄附先の自治体数）

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の数の数が5以下であると見込まれる者をいいます。（切り取らないでください。）

令和 年寄附分 市町村民税・道府県民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住所 〇△×県 △〇郡 ◆〇×町 678-9	(受付印)
氏名 下諏訪 太郎 様	
後日、受付印を押印し”受付書”として送付いたします。	団体名 長野県下諏訪町

整理番号: